

広島大学病院総合内科・総合診療科からのご挨拶

新しいチャレンジが始まりました

総合診療医への期待はますます高くなっています。この社会の期待に応えるべく、私たちは努力を続けています。私たちのミッションは「優れた総合診療医を育成し、広島に医療に貢献する」ことです。

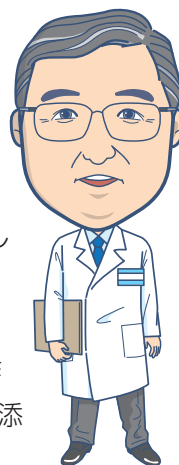
昨年度、広島大学・広島県は「厚生労働省 総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」に初めて採択されました。全国で8番目の事業採択です。先行する島根県を手本にして、広島県独自の総合診療医育成事業を発展させたいと思います。この事業は単年度事業ですが、令和6年度も連続採択が決まりました。少しずつ花を咲かせつつある本事業に、ぜひご注目ください。

私はこの事業を基盤に「広島県の総合診療医がひとつになる」ことを目指していきたくと思っています。当科関連医師も、自治医大卒業生も、地域枠出身医師も、セカンドキャリアとして総合診療医を目指す人も、志を同じくする県内全ての医師が一つになり次世代を担う若手総合診療医を育成・支援する、そのような姿を夢見ています。

Masanori Ito 伊藤 公訓
■ 広島大学病院 総合内科 / 総合診療科 教授

広島で総合診療医育成に関わる多くの先生は、私を含め様々な経歴やバックグラウンドを持っています。考え方も日々の活動も様々です。ただ確かなことは、本県には多くの優れた指導医がおられ、潜在的な総合診療医育成能力は傑出していることです。広島が一つになれば、大都市のどの有名病院にも、決して負けないような素晴らしい総合診療医育成システムができると信じています。さらに行政（広島県）も2030年のメガホスピタル構想（地域医療・人材育成拠点事業）を見据え、総合診療医育成に大きな期待を寄せています。本年度からの「広島県第8次保健医療計画」では、総合診療医育成が具体的な目標として明文化されました。

ぜひみなさんと素晴らしい総合医育成基盤を作り、より良い医療、社会を作り出していきましょう。引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。



当科の学術研究活動

当科では現在4名の大学院生が在籍しており、生活習慣病の病態解明を中心とした基礎研究と、災害やCOVID-19などによる医療情勢の変化についてビッグデータを活用した公衆衛生学的研究などを行っています。広島大学病院では医学生に医学研究の重要性を啓発する目的で、4年次に4か月間の医学研究実習が行われています。しかし残念なことに、教室運営の財源となる運営費交付金は年々削減される傾向にあるうえに、製薬会社からの奨学寄附金も相次ぎ廃止され、研究活動費の財源確保はすべての診療科で重要な課題となっている状況で

す。自身の経験から、海外での研究活動など学術研究活動を通じて得られたものは計り知れず、その経験を若い世代の先生方にも経験してもらえたらと思っています。そのためには競争的外部資金の調達を積極的に行う所存ですが、それに加えて関連施設の皆様からの引き続きの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Keishi Kanno
■診療教授/研究長 **菅野 啓司**



総合診療医育成を通して県内の総合診療の輪を広げます

平素より当科の総合診療専門研修プログラムにご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで、昨年10月に行われた第3回総合診療専門医試験では当プログラムの修了生1名が受験し無事合格いたしました。また、本年度は2名の新専攻医を当プログラムに迎えることができました。昨年までと比べるとやや寂しい人数ですが、地域志向と総合診療マインドにあふれた、大変楽しみな2名です。このように少しずつではありますが、広島県の総合診療の輪の広がりにも貢献できていると実感しております。今後は当プログラム内のつな

がりだけではなく、他施設のプログラムとの連携も深めつつ、よりよい研修を提供していきたいと考えています。

最後になりますが、4月より当科の医局長に就任いたしました。私のような若輩者には恐れ多い大役ですが、菅野前医局長から利他の心を引き継ぎ、医局運営に努めさせていただきます。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Daisuke Haratake
■特命助教/医局長 **原武 大介**



大学病院総合診療外来： 診断・治療の難渋症例など幅広い疾患に対応できる 総合医療体制で、患者様に寄り添った診療を

広島大学病院総合診療外来は、診断・治療の難渋症例を抱える患者様のご相談窓口として、地域医療機関の先生方と連携しながら、質の高い医療を提供しております。当科では、患者様一人ひとりに最適な治療計画を立案し、専門性の高い医師がチームとなり、患者様の病状を多角的に分析し、最適な治療計画を立案いたします。患者様のニーズを丁寧に聞き取り、患者様と医療従事者が協働しながら治療を進めていきます。

また、幅広い疾患に対応できる総合医療体制として、総合診療、家庭医療、救急など、多様な専門医が連携して診療に当たります。単一の疾患にとらわれず、患者様全体の病状を把握し、包括的な治療を提供します。さら

に、地域医療機関との連携体制を強化していきます。患者様の病状や治療経過について、地域の医療機関と密に情報共有を行い、切れ目ない医療提供を目指します。地域医療機関の先生方からのご相談にも積極的に対応いたします。

教育病院としての役割として、研修医による外来診療も行っております。指導医のもと、複数の医師が診療に携わることで、質の高い医療を提供するとともに、地域医療全体のレベル向上にも貢献しております。患者様のご負担を軽減し、早期に適切な治療を受けられるよう、地域医療機関の先生方からの積極的なご紹介をお待ちしております。

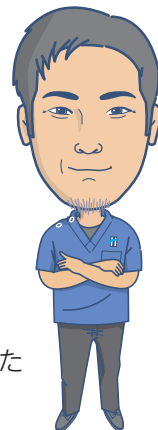
Daisuke Miyamori
■診療講師/外来医長 **宮森 大輔**

教育を充実させ、 複雑困難な患者も個別に紐解く病棟運営を！

Shuhei Yoshida 吉田 秀平
■ 診療講師 / 病棟医長

自身が病棟医長を拝命し、3年目に入りました。2022年度でCOVID-19中等症専用病床の運営を終了し、2023年度は通常の入院診療を行う形へと戻りました。藤井医師・加藤医師・相原医師が後期研修医として診療に当たり、若手を中心とした病棟運営を行ってきました。勢いのある若手から先輩への突き上げも感じつつ、活気のある雰囲気です診療にあたることができました。また、診断困難事例に対応したり、患者背景を考慮したりと個別性の高い対応を行えるよう教育的なカンファレンスを

実施してきました。2024年度は、2023年度より1名多い、4名の専攻医がローテーションを行う予定です。研修医・スタッフの診療力向上に引き続き精進しつつ、これまで以上に広島総合診療医を育てる為の教育を担う責務も重要なものとなってきていると感じています。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



初期臨床研修医にとって より魅力的なプログラムを確立して参ります！

Yuya Shigenobu 重信 友宇也
■ 特命助教 / 初期研修担当

平素より大変お世話になっております。本年度より初期臨床研修教育担当を務めることとなりました重信友宇也と申します。前任の菊地由花先生が築かれた礎をもとに、研修医にとってさらに楽しく、学びあるプログラムとなるよう努力して参ります。昨年度も院外研修については各研修医の満足度が非常に高く、これもひとえに各御施設の先生方によるご指導のお陰と存じます。この場を借りて改めて御礼申し上げます。本年度は院内研修のカリキュラムも大幅に見直し、大学病院だからこそ出来る研修プログラムの確立を目指して参ります。また昨年

度設立された広島大学病院 総合診療医センターや広島県とも有機的に連携し、総合診療の魅力や多様な働き方を積極的にアピールいたします。先生方の引き続きのご支援とご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。



当科のInstagramを開設しました。
是非ご覧ください！

教務通信 2024

Kotaro Ikeda 池田 晃太郎
■ 医科診療医 / 教務担当

平素より当科の学生実習にご協力頂き、誠にありがとうございます。2024年は臨床実習Ⅱ（医学科6年生）において大きな変更がありました。モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）に準拠した診療参加型実習を目指し、一施設あたりの実習期間が大幅に延長となりました（2-5日間 → 2週間 or 4週間）。学生からも

評判よく、ご対応頂いている先生方におかれましては本当にありがとうございます。また、臨床実習Ⅰ（医学科5年生）、コミュニケーション学（医学科1年生）におきましても引き続き改善を続けて参りますので、ご協力を賜ればと存じます。2023年に設置された広島大学病院総合診療医センター（通称：ひろしまCGM）の機能

も活かし、これまで以上に学生に総合診療の魅力を発信し、充実した教育体制を整えていく所存です。引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

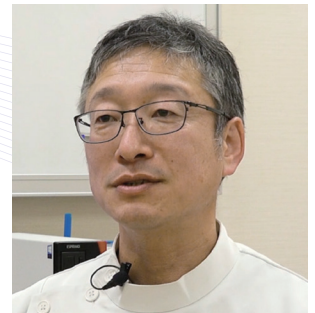


広島大学総合診療医センターが始動しました

東條 環樹

Tamaki Tojo

■ 広島大学病院 総合診療医センター長



令和5年10月1日より広島大学総合診療医センター長に就きました東條環樹と申します。総合診療科の皆様には今後ご指導、ご協力いただくと存じますが何卒よろしくお願ひ申し上げます。

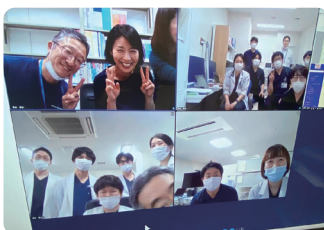
少子高齢化、人口減少、多死社会の到来で、日本の医療のみならず、国家自体が大きな岐路に立たされていると言っても過言はありません。その中でも全国第2位の無医地区数を有するなど地域医療に課題を抱える広島県にとってはより切迫した状況です。その最適解の一つであるのが総合診療の充実であり、それを実現する要件はなんと言っても総合診療医数の増加です。が、全国的に総合診療医を志す医学生、若年医師は増えつつあるものの足りていないのが現状です。その課題を解決するために令和3年度に始まった厚生労働省の「総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業」は、地域において幅広い領域の疾患等を総合的に診ることができる総合診療医を養成・確保するための総合診療医センター設置を推進するもので、初年度には全国6大学が認可されました。広島県では総合診療科の伊藤公訓教授のご尽力により全国で8番目のセンターとして令和5年度、広島大学病院内に開設されました。私は自治医科大学を平成9年に卒業、

などは全く無縁なキャリア形成でしたが、良いご縁をいただき今回のセンター長拝命となりました。

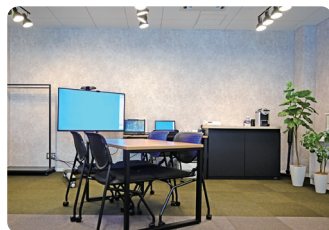
初年度である半年間で①遠隔診療支援・教育システム(通称ORIZURU)設置・稼働、②ホームページの立ち上げ、③センタースペースの整備、を実施いたしました。特に全国初とも言える①のシステムはセキュアが確立された情報共有システムで、個人情報である電子カルテ画面なども複数施設で提示しながら教育、相談業務ができる仕組みとなっています。また③センタースペースは令和6年5月末に完成し、落ち着きのあるおしゃれなくつろぎスペースになりました。霞キャンパスに来られた際には皆様お立ち寄りください。

今年度以降も行政と連携をとりながら、大学病院、総合診療専門研修プログラム、医療現場の指導医をつなぎ、サポートシステム、ネットワークを構築し、総合診療の魅力を発信していくのがセンターの使命と考えています。広島で学び育った総合診療医が県内のあらゆる医療現場で活躍できるよう、広島大学総合診療科と共に発展していきたいと思っておりますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

医師になって5年目から二十余年にわたり中山間地に位置する僻地無床診療所で勤務して参りました。学術的な業績や学位



ORIZURUでの様子



総合診療医センター内



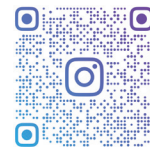
ホームページ



公式 Instagram



ホームページ



Instagram



CGMTube



X



活動報告

身体疾患だけでなく こころの不調にも寄り添います

亀谷 貴浩 Takahiro Kametani
ここみクリニック 院長



皆様いつも大変お世話になっております。平成26年卒の亀谷貴浩と申します。

これまで錚々たるOBの先生方の記事を拝見し、私のような若輩者が医局の会報誌で活動報告とはおこがましいと思いつつ、僣越ながら自己紹介させていただきます。

私は兵庫医科大学を卒業後、広島大学病院での初期研修を経て総合内科・総合診療科に入局させていただきました。出身大学の前身は武庫川病院という精神科病院ということもあり、学生時代から漠然と精神医療に興味がありました。入局後に大学病院や広島西医療センターで幅広い疾患の対応をさせていただいた後、無理を言って精神科病院や関東の心療内科クリニックで精神医療を勉強する貴重な経験を頂戴しましたこと、医局の先生方にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

家庭医療専門医として身体疾患だけでなくこころの不調にも寄り添いたいという思いから、昨年10月2日八丁堀の東急ハンズ北側に内科・心療内科・精神科を標榜した「ここみクリニック」を開院いたしました。一般的な内科疾患だけでなく、適応障害、気分障害、不安障害、統合失調症、不登校、発達障害、依存症など幅広く対応しております。精神領域ではまだ客観的なデータが乏しい上、薬の作用が人によって異なることも多くEvidenceよりExperienceの占める割合が高いです。この領域で

いかに自分の特色を出せるかというチャレンジングなところを魅力に感じています。

オフィス街という土地柄、公務員や会社員の方々が職場のストレスによる体調不良を主訴に受診されるケースが多いです。特に30歳以下の方々のストレス耐性の低下が目立ち、この年齢層の死因の原因1位となっている自殺との関連性を強く感じます。

薬の治療は軽い気分の落ち込みや不安症状（対人緊張、パニック発作、脅迫思考など）に一定の効果はありますが、症状の背景には抑圧的な家庭環境や学校でのいじめ体験がトラウマとなっているケースが多く見られます。当院では専任カウンセラーと連携しながら自分を苦しめている思考パターンを変え、ストレス耐性を上げることで薬に頼ることのない根本的な解決を目指しており、減薬目的で来院される患者さんもいらっしゃいます。

かかりつけの患者さんを抱えての開業ではなかったため当初は閑古鳥が鳴くことも多かったのですが、開業から半年が経ち少しずつ軌道に乗ってきたように感じています。

ストレス社会の昨今、心療内科への受診のハードルが下がった影響もあり、心療内科の初診は市内では1カ月近く待たせられることも珍しくありませんが、当院では当日予約も受け付けております。死にたいと思うほど思い詰めている人が1か月後の受診を待つことなど到底できないため、今後も当日予約の患者さんをできる限り断らずに対応し続けようと思っております。

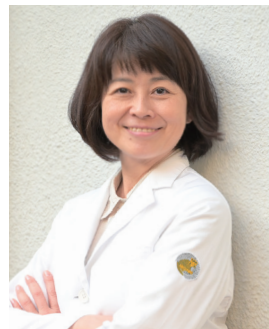
クリニックのこだわりとしては、患者さんになるべくリラックスして過ごしてもらえよう、柔らかなグレイジュをベースに自然素材の木を活かした内装を選びました。

孤独な開業生活ですので、これからますます総合診療科の先生方とのご縁を大切にしていきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



活動
報告

漢方診療センター

小川 恵子 Keiko Ogawa
漢方診療センター長 教授外来診療体制と教育制度が
拡充しました！

今年度より漢方診療センターは、新たに2名の医科診療医と4名の鍼灸師がメンバーに加わりました。漢方専門医を目指す専攻医も3名在籍しています。漢方・鍼灸外来枠も増設し、地域の医療機関や院内からのご紹介を円滑にお受けできるように体制を整えています。

教育面では、6月からは日本漢方医学教育振興財団の短期研修プログラムを開始し、臨床教育施設からの医師見学者を受け入れています。また、鍼灸師の研修も行っています。卒前教育として臨床実習の

選択も可能となりました。総合診療と漢方医学は、患者さん全体を横断的に診察・治療するという共通した考え方があり、親和性があります。総合内科・総合診療科と連携し、シナジーとして、患者さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。

三叉神経痛に対する漢方薬の効果を検討する治験を行っています。もし、三叉神経痛を疑う患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介 (okeiko22@hiroshima-u.ac.jp) をお願い申し上げます。

総合診療科 新メンバー紹介

長坂 早知 先生 Sachi Nagasaka 〈医科診療医〉

- 出身地：広島県江田島市 ●出身学校：川崎医科大学 ●卒業年：2015年 ●前の職場：一陽会原田病院
- 部活：水泳部 ●趣味や特技：カラオケ、韻、焼き火 ●アピールポイント：話しかけやすいとよく言っていただけます。
- 休日の過ごし方：子供と公園など。一人ではカラオケや映画など。たまに焼き火。
- この1年の目標：知識や臨床に関して丁寧にレベルアップしたいです。 ●将来の目標：日々を生きる。与えられた任務を全うする。
- みなさんに一言：頑張ります。よろしくお願いいたします。

木村 直人 先生 Naoto Kimura 〈医科診療医〉

- 出身地：広島県広島市 ●出身学校：近畿大学 ●卒業年：2016年 ●前の職場：安芸太田病院
- 部活：テニス部 ●趣味や特技：釣り (船舶免許を取りました)
- アピールポイント：興味を持ったことはほとんど追求するタイプです ●休日の過ごし方：時間を見つけて妻とお出掛け
- この1年の目標：仕事と家庭とバランスよく ●将来の目標：人と地域を丸ごとみられる医師
- みなさんに一言：地域医療に従事し、6年ぶりの大学病院勤務となりました。よろしくお願いいたします。

濱浪 嘉登 先生 Yoshito Hamanami 〈医科診療医〉

- 出身地：岡山県玉野市 ●出身学校：金沢大学 ●卒業年：2018年 ●前の職場：社会医療法人 尼崎だいもつ病院 (兵庫県)
- 部活：囲碁部 ●趣味や特技：囲碁は大学時代に団体戦で全国大会に出ていました。スキーも好きです。
- アピールポイント：基本領域はリハビリテーション科ですがサブスペとして漢方専門医を目指しています。
- 休日の過ごし方：広島の観光地に可能な限り行けるようにしたい。(兵庫は全く行けなかった…)
- この1年の目標：ここ数年全く勉強時間が取れなかったので、しっかり勉強したいです。
- 将来の目標：リハビリテーション、漢方、認知症の専門医取得を目指したいです。
- みなさんに一言：囲碁やスキーが好きの方も、そうでない方も、是非お気軽にお声がけ下さい。

増岡 駿人 先生 Hayato Masuoka 〈医科診療医〉

- 出身地：広島県呉市 ●出身学校：久留米大学 ●卒業年：2020年度 ●前の職場：吉島病院
- 部活：バレーボール部 ●趣味や特技：ゴルフ、ゲーム ●アピールポイント：話を聞くのは好きな方です。
- 休日の過ごし方：ゴルフに行くか家でゴロゴロしていることが多いです。 ●この1年の目標：色々な症例を経験したいです。
- 将来の目標：患者さんに頼られ寄り添える医師になりたいです。
- みなさんに一言：未熟者ですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



西宮 陸先生 Riku Nishimiya 〈医科診療医〉

- 出身地：広島県呉市 ●出身学校：広島大学 ●卒業年：2021年 ●前の職場：広島市立広島市民病院
- 部活：HALS (BLSの普及活動などを行うサークルです)、ランニングサークル ●趣味や特技：旅行、カメラ、ゲーム
- アピールポイント：人の話を聞くことが好きです。
- 休日の過ごし方：1日中ゲームをしたり、ショッピングに出かけたりして過ごしています。
- この1年の目標：外来で診る慢性期疾患について学びたいと思います。 ●将来の目標：一人前の総合診療医になること
- みなさんに一言：今年度から大学病院に勤めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



井上 絢先生 Aya Inoue 〈漢方診療センター 鍼灸師〉

- 出身地：東京都 ●出身学校：中和医療専門学校 ●卒業年：2004年 ●前の職場：鍼灸治療院
- 部活：陸上 ●趣味や特技：読書 ●アピールポイント：地道な作業は得意です。 ●休日の過ごし方：現実逃避
- この1年の目標：一期一会、感謝の気持ちを忘れず過ごしたいです。 ●将来の目標：心穏やかに過ごしたいです。
- みなさんに一言：頑張ります。よろしくお願いいたします。



廣瀬 桂子先生 Keiko Hirose 〈漢方診療センター 鍼灸師〉

- 出身地：愛知県北名古屋市 ●出身学校：東洋鍼灸専門学校 ●卒業年：2013年 ●前の職場：自身の鍼灸院
- 部活：陸上部 ●趣味や特技：旅行 ●アピールポイント：常に前向き ●休日の過ごし方：ゆっくり寝る
- この1年の目標：多くのことを吸収し、患者さんに貢献できるようがんばります
- 将来の目標：鍼灸の認知向上に携わっていきたいです ●みなさんに一言：どうぞよろしくお願いいたします



西 恭平先生 Kyohei Nishi 〈漢方診療センター 鍼灸師〉

- 出身地：東京都 ●出身学校：東洋鍼灸専門学校 ●卒業年：2023年卒 ●前の職場：愛媛県立中央病院
- 部活：野球、テニス ●趣味や特技：登山、神社仏閣巡り ●アピールポイント：かつてバイオリンを弾けました。
- 休日の過ごし方：気が付いたら終わっています。 ●この1年の目標：東洋医学の面白さを伝えたい。
- 将来の目標：皆様の健康寿命延伸に一翼を担えたらうれしいです。
- みなさんに一言：頑張っています！よろしくお願いいたします。



横田 佐和子先生 Sawako Yokota 〈漢方診療センター 鍼灸師研修生〉

- 出身地：広島県賀茂郡 ●出身学校：朝日医療専門学校 ●卒業年：2016年 ●前の職場：訪問鍼灸
- 部活：ZUMBA、サルサ ●趣味や特技：子供とタップダンスのレッスンに
- アピールポイント：食生活などに対しても興味があるので、いろいろ教えてください！
- 休日の過ごし方：独居の父の様子見がてら、家庭菜園など ●この1年の目標：無事に終えたい ●将来の目標：穏やかに生活したい
- みなさんに一言：不慣れでご迷惑をお掛けすることが多々あると存じますが、よろしくお願いいたします。



永友 佑夏先生 Yuka Nagatomo 〈漢方診療センター 鍼灸師研修生〉

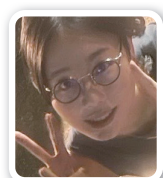
- 出身地：福岡県福岡市 ●出身学校：福岡天神医療リハビリ専門学校 ●卒業年：2024年 ●前の職場：リラクゼーションサロン
- 部活：福岡大学映画研究部 ●趣味や特技：銭湯に行く お笑い鑑賞 おんぶしてその人の体重を当てる(耐荷重100kg)
- アピールポイント：M-1グランプリは二回戦から観に行きます ●休日の過ごし方：筋トレ→銭湯→町中華で一献
- この1年の目標：医療連携に強い鍼灸師になれるようがんばります
- 将来の目標：BIG3 (スクワット120 ベンチ50 デットリフト100) 更新
- みなさんに一言：音戸温泉でのサウナ仲間を募集しています！ともに整いましょう！

新入局 総合診療医を目指す仲間が今年も増えました！



渡邊 凌平先生 Ryohei Watanabe 〈現所属：広島西医療センター〉

- 出身地：広島県山県郡安芸太田町 ●出身学校：獨協医科大学 ●卒業年：2021年 ●前の職場：広島大学病院
- 部活：バドミントン部 ●趣味や特技：ライブに行くこと、飲み、カラオケ
- アピールポイント：初対面の人でもいっぱい話せます。 ●休日の過ごし方：おいしいご飯やお酒のあるお店を探すこと。
- この1年の目標：様々な疾患の知識や対応を学ぶ。 ●将来の目標：地域医療に貢献できるようになる。
- みなさんに一言：今年から総合診療科の一員となりました。一生懸命頑張ります！



大本 夏光先生 Natsumi Oomoto 〈現所属：吉島病院〉

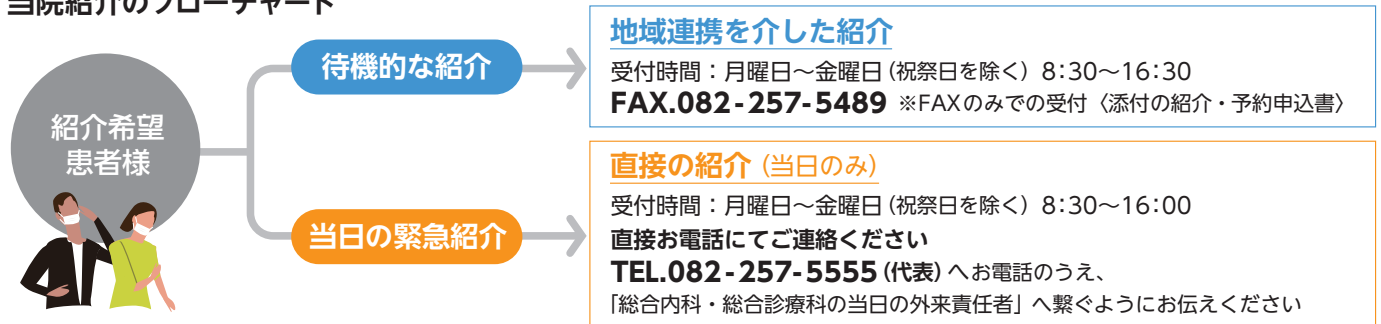
- 出身地：広島県 ●出身学校：愛知医科大学 ●卒業年：2022年 ●前の職場：広島共立病院
- 部活：軽音楽部(ベース) ●趣味や特技：映画鑑賞、音楽鑑賞、長風呂。 ●アピールポイント：割となんでも楽しめます。
- 休日の過ごし方：ひたすら寝る。元気だったら、家事したり旅行したりします。
- この1年の目標：自分の最善を尽くす。 ●将来の目標：医者を続ける。
- みなさんに一言：若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

紹介患者様の依頼

2023年度も年間を通して200以上の医療機関より、不明熱、体重減少、全身の痛み、しびれ、浮腫などの各症状に加えて、周期性発熱等に対する遺伝学的検査目的の紹介患者様を診療させていただきました。経過の報告は担当医が責任をもって記載しておりますが、紹介後の経過等で不明な点等ございましたら、担当医までご連絡いただけましたら幸いです。通常の地域連携を介した紹介に加えて、当日の紹介も受け付けております。詳しくは以下のフローチャートをご参照ください。引き続き先生方と連携を深めさせていただければと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。




当院紹介のフローチャート



外来診療担当表

●総合内科・総合診療科 紹介連絡先：**082-257-5555（代）**

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-------------|-------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------|
| 総合診療科 外来 | 伊藤 公訓 宮森 大輔 木村 直人 | 石田 亮子 重信 友宇也 増岡 駿人 | 菅野 啓司 吉田 秀平 西宮 陸 | 大谷 裕一郎 原武 大介 増岡 駿人 | 池田 晃太郎 長坂 早知 |
| 漢方診療科 | 河原 章浩 瓜生 ゆかり | 小川 恵子 金山 敏治 | 濱浪 嘉登 小高 ゆき奈 瓜生 ゆかり | 小川 恵子 菊本 修 | 河原 章浩 小高 ゆき奈 |



学会案内

2025年2月22日(土)～24日(月・祝)
第30回 日本病院総合診療医学会学術総会
 会場 広島国際会議場
 会長 伊藤 公訓 (広島大学病院 総合内科・総合診療科)

編集後記 医局長 原武 大介 / 総合診療医センター事務 山本 智恵

年間誌「Soshin Press vol.5」をお読みいただき誠にありがとうございました。お楽しみいただけたでしょうか。昨年までと同様、当科の雰囲気を皆様にお伝えできるようにと心がけて編集いたしました。個人的なお気に入り写真は表紙の写真です。撮影期間中にスタッ

フが全員集合できず、医局、研究室、漢方診療センターに分けて撮影するという初めての試みでしたが、それぞれの色がでてよかったです。今後も皆様と当科との懸け橋となる情報をお届けしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



広島大学病院総合内科・総合診療科へのご意見・ご質問は…
E-mail soshinhp@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ <https://soshinhp.hiroshima-u.ac.jp/>
instagram <https://www.instagram.com/hirodai.soshin>



ホームページ



Instagram

広島大学病院 総合内科・総合診療科 ニュースレター vol.5

■発行日：2024（令和6）年7月1日 ■発行：広島大学病院 総合内科・総合診療科 〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 TEL.082-257-5460